



平和が一番

集団的自衛権の行使につながる
すべてを断念させましょう

「殺し殺される国」にしてはなりません

なぜ憲法の理念を変更するのに国民に問わないのでしょうか

なぜ、話し合いによる解決、
平和外交を第一に考えないのでしょうか

世界中で日本の企業、日本人個人が活動し、多くの国とかかわっています。すべての国と対等平等の外交が整えていれば、紛争が起きても話し合いによる解決がすすみ、なにも心配することはありません。

しかし日本政府に一番欠落しているのがこの「外交」です。何かあればすぐに「軍事力」「日米同盟」を持ち出し、自力で平和外交を遂行する力がありません。

集団的自衛権の行使も、外交努力をする意思がないところから出発しています。

なぜ、正面から憲法改正論議が
できないのでしょうか

第一次安倍内閣の時に憲法9条改定を言い始め、国民の反発にあつて政権を投げ出しました。第二次内閣では96条の改定手続きで国民の過半数とするハードルを低くしようとしたが、これもまた国民の反対でとん挫しました。

憲法改定で窮地に立たされた安倍首相は「解釈改憲」によって実質的に憲法改定というクーデターに走ったのです。

なぜ多数の国会議員や財界が
戦場に若者を送りたがるのでしょうか

少なくとも自分や家族が戦場に行くことはない、行くつもりもないと考えていると思います。戦争が起きれば多くの犠牲者が出ますが、相手国も含めて名もなき若者、弱い立場の女性や子供です。

戦闘が始まれば大量の武器を消耗します。新しい武器を供給しなければなりません。儲けが発生します。そんな企業とつながっている国会議員は寄付が届きます。同胞の生死など眼中にないと感じますがどうでしょう。

戦争はしてはいけません。

なぜ日本が攻撃されていないのに
海外で武力の行使ができるのでしょうか

これまでの自民党政権でも「できません」と言って来たものを、「自衛の措置としての武力行使、必要最小限の実力の行使、明白な危険、限定的」とか、ごまかすための言葉を並べて、結果「海外で武力の行使」が可能という結論を導いているだけです。元から憲法違反ですから理屈としても成り立たないのが自民党、公明党が合意した「閣議決定」内容です。



よし **くらしの**

「由さん」の 便り

2014年 7月 334号

川西市議会議員(日本共産党)

住田由之輔 すみだよしのすけ

連絡先・下加茂 1-24-23

ケイタイ 090-9283-6739

新名神高速道路

橋脚、トンネル工事が進んでいます

大阪箕面方面からトンネルで一の鳥居付近に出てきてまたトンネルで西畦野に抜け、川西インターチェンジが建設、その先の六石山をトンネルで抜けて猪名川町への、片側 2 車線 (3 車線分買収) 高速道路が建設されています。



インターチェンジ付近から一庫大路次川あたりを見る



写真右・六石山トンネルからインターチェンジを見る
写真左・インターチェンジ付近



アステホール、8月1日から
リニューアルオープン

アステ管理会社の経営支援にと、アステビル 6 階ホールを市が購入、貸館業務としてのリニューアルを進めてきて、8月1日から再開します。住民票の取り扱い業務、幼児の遊び場なども開設されます。

税金の使い方の問題、商店の活性化に貢献するかどうかの問題など抱えてのさいかいです。アステビル全体でもリニューアルが進められています。

中央北地区

区画道路 (写真) 建設などが進んでいます



福祉金支給受け付け始まる

消費税の引き上げに伴って低所得者に一回限り 1 万円の支給をするという制度です。さまざまな制約がありだれも受け取れるというものではありません。

新たな差別を持ち込むもので「増税しない」が一番納得されるのではないのでしょうか。

川西市特別職報酬等審議会始まる

議員の報酬は高いのかどうか、一般職員の給与が、国の政治の誤りで引き下げられている中で審議が始まりました。

私が議員になって 20 年、報酬は全く変わっていません。一度数%のカットを臨時的に行っていますが、本体を変えたわけではありません。